

『やる気を引き出し、自ら成長していく子の育て方』

一般社団法人 人間力認定協会

代表理事 井上智之

人間には生まれつき、生きる力や向上心があります。遺伝子レベルで生きながらえていく力が備わっているのです。みなさんは日々の子育ての中で、お子さんからそのような力を感じていらっしゃるでしょうか？もっと知りたい！もっとできるようになりたいという力です。感じる事ができているならそれを邪魔せず、伸ばす方法を一緒に考えていきましょう。また、それを感じられない人は、なぜ感じられないかを一緒に考えていきましょう。

まず皆さんに聞きたいことは、みなさんの「子育ての目標」です。お子さんに「どんな子になってもらいたいのですか？」お子さんに「どのような人生を歩んでもらいたい」ですか？すべてはここから始まります。

子どもたちの人生を考えることは、自らの人生への問いにもつながります。「人生の意味とは？」「幸せとは？」。

子どもたちに「なんで勉強しなきゃいけないの？」と聞かれたらどう答えますか？

「生きる意味を問われたら」「働く意味を問われたら」どう答えますか？

こんな子どもたちの率直な質問に困ることがありますよね。

「そんなことわからないよ」とさじを投げますか？

「そんなことより宿題は？」と強引に話題を変えますか？

それとも「子どもに隠れて、必死にスマホで検索しますか？」

この答えが本日のテーマである「子どもたちのやる気を引き出し、自ら成長していく子の育て方」の答えになります。つまりすべての子どもたちが生まれつきお母さんからもらっている「生きる力」と「向上心」を活性化するための答えになります。

では、その答えとはなんでしょう。その答えは「答えないことです」。

学習（学び）の喜びは「気づき」と「発見」です。子どもたちが自ら「気づき」「発見」するから学びたいという向上心がどんどん湧き出てくるのです。それなのに私たちはついつい安易に答えを教えて、効率的な学習を促してしまいがちです。その効率的な学習こそが子どもたちの「やる気」を奪うことになるのです。つまり効率化によって省かれたものとは「気づき」と「発見」なのです。先生や親たちは子どもたちに常に「答えてあげたい」「教

えてあげたい」「正してあげたい」「導いてあげたい」と思っています。ここをぐっところえる必要があります。

そこで、「君はどう思うの?」「君はどうしたいの?」「それはいいことかな?」「自分の胸に手を当てて考えてごらん」などと子どもに問い直すのです。

たとえ親としての意見を聞かれても「難しいなあ」「なんでかなあ」と答えます。できるだけ不思議そうにできれば完璧です。そうすると「こうじゃない」「ああじゃない」と次第に子どもの方から積極的に意見が出るようになってきます。

しかしここに落とし穴があります。大人は子どもの意見に対して、まるで世界のすべてを知り尽くした裁判官のように子どもたちに説教をしてしまうのです。「世の中ってそう甘くないのよ」とか「それはこういう理由があってね」とか「それはいけないことよ」など。

これが出ると子どもたちに勝ち目はありません。退散するのみです。自分の子どもに「積極性がない」とか、「主体性がない」とか、「やる気がない」とか感じているとしたら、こういった普段の接し方が原因の一つかもしれません。

人間の脳がプログラムを蓄積する際の3つの原則を紹介します

1. 快・痛みの原則：脳は快を求めて痛みを避ける
2. 焦点化の原則：意識は同時に二つのことをとらえられない
3. 空白の原則：脳は空白を作るとそれを埋めようとする

この3つ目の「脳は空白を作るとそれを埋めようとする」という原則に照らしてみても、答えないでさらに疑問を膨らますことが、それを埋めようとする働き、すなわち「自ら進んで学習する」という行動につながるということがわかります。

「教えようとすれば、人は学ばない」という言葉があります。

「学問のすすめ」で有名な福沢諭吉はその著書「文明教育論」の中で次のようなことを書いています。

「すなわち学校は人に物を教うる所にあらず、ただその天資の発達を妨げずしてよくこれを発育するための具なり。教育の文字はなほだ穩当ならず、よろしくこれを発育と称すべきなり」

つまり教育とは「教えること」ではなく、生まれ持った能力の発達を邪魔せず発育することだと言っています。

福沢諭吉の言う、「生まれ持った能力を邪魔せず発育するには」まずは子どもたちの「問い」の邪魔しないことなのです。

人間をほかの動物と切り離すことになった宗教や哲学、科学は、すべて同じ「問い」から始まりました「人はどこからきて、どこへ向かうのか」。この問いを追い求める過程こそが文明を生み出してきたのです。子どもたちの「問い」を大切にしてください。

一般社団法人 人間力認定協会
代表理事 井上智之

～ やる気を引き出し、自ら成長していく子の育て方 冒頭挨拶 終 ～